

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立 立川第四中 学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが住んでいる地域について、興味・関心が高まり、話題にしたり、情報交換したりする機会が増えた。 自分たちで設定した課題に対して、主体的に解決しようとする態度を育成することができた。 地元企業との連携により、地域の一員であるという自覚が高まり、共に社会へ貢献しようとする意欲が高まった。 自分や集団内の課題を発見、解決する力を日常の学校生活でも生かせるようになった。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な活動を行う上での、課題の設定、情報収集、分析、表現等の手法を生徒一人ひとりに定着させる。 地域住人や地元企業と継続的な協力体制を構築していく。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
36.6%	48.1%	9.9%	5.4%	0%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
49.2%	36.4%	2.1%	0.5%	11.8%